

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業					
施 策 の 大 綱	2－3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	3 付加価値の高い持続可能な農業の振興					
施 策 の 内 容	6 農林水産業の振興によるまちのにぎわいの創出					
R1決算額	447千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						447千円

【事業の概要】

本市は首都東京から約60km圏内に位置し、日本一の生産量を誇るれんこんを始め、米・葉菜・根菜・果実・花き・畜産と多種多様な農業地域になっているほか、霞ヶ浦の水産資源にも恵まれています。

この豊富な農林畜水産物やその加工品をPRすることで、本市のブランド力を底上げし、交流人口の増加及びまちの賑わい創出につながります。令和元年度は「土浦ブランドアッププロジェクト基本構想」に基づき、様々な事業を開催しました。

◎都市と農村の交流事業

交流人口増加を図るべく、都市と農村の交流事業として野菜の収穫及びそば打ち体験を実施し、本市の魅力を伝えるとともに、本市産の農作物を身近に感じてもらいました。



野菜収穫体験



そば打ち体験

◎ブランド認定品販売会

土浦ブランド認定品の知名度アップを目的として、ブランド認定品販売会を東京駅周辺などで行い、本市の気候、風土、歴史、自然が感じられる逸品をPRしました。



◎土浦ブランドイメージメニュー料理教室

れんこん、わかさぎやしらうおといった本市の特産物をふんだんに活用した土浦ブランドイメージメニューの普及・活用促進のため、飲食店事業者や子ども食堂関係者等を対象に料理教室を開催しました。



(単位:千円)

区 分	事業費	概 要
報償費	162	協議会開催費
旅費	18	イベント会場までの交通費
需用費	202	PRグッズ作成費等
役務費	10	イベント出店時手数料
使用料及び賃借料	55	イベント用備品借上料
合 計	447	

【事業の成果】

都市部在住者を対象に野菜の収穫体験やそば打ち体験を実施したことにより、本市の魅力や特産物を広くPRすることができました。

また、ブランド認定品販売会を東京都内等の様々なイベントで開催したことにより、「土浦ブランド」や本市の特産物の認知度アップにつながりました。

その他、「土浦ブランドイメージメニュー」のPRにより、れんこんを始めとした本市産の農作物の利活用の促進に寄与しました。

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	一般地帯土地改良事業（農道・かんがい排水事業）					
施 策 の 大 綱	2－3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	3 付加価値の高い持続可能な農業の振興					
施 策 の 内 容	1 農業生産基盤の整備と保全					
R1決算額	45,258千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			13,911千円	17,200千円		14,147千円

【事業の概要】

農用地区域の農道及び水路の環境整備により、機械化農業に貢献し、排水路としての機能を回復すると同時に、用水源としても活用することにより営農効率を高め、農業経営の安定を図ります。

◎農道整備

- ・農用地区域の道路延長 約357km
令和元年度までの整備延長 198.1km（約55%）

◎かんがい排水整備

- ・農用地区域の排水路延長 約93km
令和元年度までの整備延長 20.3km（約22%）

[平成30年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料(繰越分)	2,462	測量, 実施設計委託
工事請負費(繰越分)	23,081	木田余地内外
計	25,543	

[令和元年度 現年分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	2,005	実施設計委託
工事請負費	17,710	木田余地内外
計	19,715	

- ・農道改良工 1地区 L=217m
(木田余地区)
- ・農道舗装工 1地区 L=219m
(木田余地区)
- ・排水路整備工 2地区 L=218m, ゲート 1門
(常名3期地区, 西真鍋地区)



農道舗装箇所



農道整備箇所



かんがい排水路整備箇所

【事業の成果】

大型機械の進入が可能となることで営農効率を高め、農業経営の安定化に寄与し、遊休農地の一部解消が図られました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	中心市街地開業支援事業					
施 策 の 大 綱	2－3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	2 生活を豊かにする商業・サービス産業の振興					
施 策 の 内 容	3 空き店舗対策・起業促進					
R1決算額	4,816千円	財源内訳	国県支出金 2,426千円	地方債	その他	一般財源 2,390千円
【事業の概要】						
平成26年度から、土浦市中心市街地活性化基本計画に基づき、活力とにぎわいのある商店街区の形成のため、本市の中心市街地に新たに開業しようとする事業者に対して、家賃の一部を補助することにより、中心市街地の商業・業務機能を促進し、まちなかの魅力とにぎわいの向上に努めてきました。						
令和元年度は、多様化する新規開業者のニーズに対応するため、これまでの家賃補助に加え、改装費の一部も補助対象とすることにより、商業・業務機能の一層の促進を図りました。						
◎交付要件						
1 対 象 者	(1) 中小企業基本法に規定する「小規模事業者」 ※おおむね常時使用する従業員の数が20人（商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については5人）以下の事業者 (2) 1日のうち午前9時から午後6時までの間に、おおむね6時間以上営業し、かつ1週間のうち5日以上営業すること (3) 2年以上事業を継続すること (4) 他の公的制度による家賃補助等を受けていないこと 等					
2 対象業種	小売業，サービス業，飲食業 等 ※常勤雇用者が2人以上在籍するオフィス・事業者等（学習塾やダンス教室等も含む）も対象					
3 対象物件	次の(1)若しくは(2)に該当し、3か月以上継続して事業活動の用に供されていない空き店舗 (1) 商業用施設として出入口が道路に面している1階・2階部分の空き店舗 (2) 建物の全部若しくは一部がオフィスや事業所として利用することができる空き店舗					
◎交付補助金額						
・家賃補助：月額家賃の1/2×12か月分（上限額10万円/月） ・改装費補助：改装費の1/2（上限額50万円）※開業時のみ						
◎令和元年度決算額						
4,816千円 家賃補助17件（継続7件，新規10件），改装費補助0件						
【事業の成果】						
令和元年度は、10事業者へ新たに補助金を交付し、中心市街地における新規開業者を増加させ、まちで働く人・活動する人が増えることによるまちなかの魅力向上・にぎわいの創出に寄与しました。						

款	商工費	項	商工費				
事業名	第88回土浦全国花火競技大会						
施 策 の 大 綱	2－3 活力とにぎわいのあるまちづくり						
施 策 名	5 地域の魅力を生かした観光の振興						
施 策 の 内 容	4 観光行事の充実						
R1決算額	75,350千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						75,350千円	

【事業の概要】

◎大会概要

第88回土浦全国花火競技大会

期 日：令和元年10月26日（土）

場 所：桜川畔学園大橋下流付近

競技内容：スターマインの部8台、10号玉の部35発、創造花火の部15組の3部門、合計58作品の競技花火を打ち上げました。（19都道府県55業者）

大会提供花火：花火師登場、ワイドスターマイン（土浦花火づくし）

スポンサー花火：レクチャー花火（5号玉10発）

仕掛花火3台

エンディング花火（7号玉88発）

花火大会は18時の定刻どおりに競技を開始しましたが、安全確認のため2度にわたり大会を中断したことから、タイムスケジュールに大幅な遅れが生じました。前日の大雨の影響で、河川敷がぬかるんでいたことから、観客の安全確保のため、大会を短縮して終了しました。

〔事業費〕

（単位：千円）

区分	事業費	概 要
補助金	75,350	花火大会事業補助金



第88回土浦全国花火競技大会ポスター



ワイドスターマイン 土浦花火づくし

【事業の成果】

土浦全国花火競技大会の開催日程については、長年にわたり10月第1土曜日に開催してきましたが、近年、10月中も気候変動による温暖化の影響で天候が不安定なことから、第89回大会以降は安定的な大会運営を図るため、11月第1土曜日に開催日を変更します。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	道路新設改良事業					
施 策 の 大 綱	2－6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	3 生活道路の整備及び管理					
R1決算額	527,635千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,612千円	394,200千円		124,823千円
【事業の概要】						
日常生活の利便性向上及び地域環境改善のため、次の工事を実施しました。						
・ 幹線道路、その他の市道の拡幅改良及び舗装工事						
・ 歩行者及び自転車の安全確保のための交通安全施設工事						
◎路線整備						
① 市道Ⅰ級5号線	L =	110 m	W =	5.5～ 6.0 m		
② 市道Ⅱ級11号線	L =	100 m	W =	8.0～ 9.0 m		
③ 市道Ⅱ級15号線	L =	195 m	W =	2.0 m		
④ 市道真鍋29・30号線	L =	170 m	W =	4.0 m		
外 25件	L =	3,294 m	W =	4.0～11.9 m		
◎平成30年度からの繰越分						
財源内訳	国県支出金	0千円	地方債	204,400千円	一般財源	25,489千円
(単位：千円)						
区 分	事 業 費	概 要				
測量、設計委託費	10,206	3件	延長	710m		
舗装、改良、排水工事費	204,845	18件	延長	2,393m		
用地取得費	2,193	4路線	面積	391㎡		
物件移転補償費	12,645	立木、工作物移設費等				
合 計	229,889					
◎令和元年度分						
財源内訳	国県支出金	8,612千円	地方債	189,800千円	一般財源	99,334千円
(単位：千円)						
区 分	事 業 費	概 要				
測量、設計委託費	39,562	13件	延長	2,345m		
舗装、改良、排水工事費	203,119	12件	延長	1,476m		
交通安全施設工事費	2,156	2件	区画線、路面標示等			
用地取得費	13,297	24路線	面積	1,974㎡		
物件移転補償費	31,957	立木、工作物、電柱移設費等				
役務費	6,194	鑑定料、登記料				
事務費等	1,461					
合 計	297,746					
◎令和2年度への繰越分						
財源内訳	国県支出金	0千円	地方債	110,300千円	一般財源	12,239千円
(単位：千円)						
区 分	事 業 費	概 要				
測量、設計委託費	11,605	3件	延長	660m		
舗装、改良、排水工事費	108,411	11件	延長	1,676m		
用地取得費	2,089	4路線	面積	277㎡		
物件移転補償費	434	立木、工作物移設費等				
合 計	122,539					



市道Ⅰ級5号線



市道Ⅱ級11号線



市道Ⅱ級15号線



市道真鍋29・30号線

【事業の成果】

幹線道路（Ⅰ級幹線，Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事，歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅改良工事，舗装工事及び交通安全施設工事を計画的に進めることにより，日常生活の利便性向上と地域環境の改善，さらには歩行者及び自転車通行の安全確保に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業					
施 策 の 大 綱	2－1 市民が主役の安心・安全なまちづくり					
施 策 名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施 策 の 内 容	6 橋梁震災対策の推進					
R1決算額	182,853千円	財源内訳	国県支出金 98,328千円	地方債 57,700千円	その他	一般財源 26,825千円
【事業の概要】						
◎橋梁耐震対策事業 橋梁の耐震性を向上させ、地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図るため、橋梁の耐震補強工事を2橋、設計委託を3橋実施しました。						
◎橋梁長寿命化修繕事業 老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し、利用者の安心・安全を図るため、長寿命化修繕工事を2橋、詳細設計委託を4橋実施しました。 [平成30年度からの繰越分] 財源内訳 国県支出金 50,040千円 地方債 35,200千円 一般財源 9,044千円 (単位：千円)						
区 分			事業費	概 要		
長寿命化修繕詳細設計委託			6,843	常磐線3・4号橋、国道六号9号橋		
歩道橋長寿命化修繕計画策定			3,607	神立小学校前歩道橋外8橋		
耐震補強工事			63,943	東真鍋1号橋（木田余立体橋）		
長寿命化修繕工事			19,891	土浦高架道、国道六号8号橋		
合 計			94,284			
[令和元年度分] 財源内訳 国県支出金 48,288千円 地方債 22,500千円 一般財源 17,781千円 (単位：千円)						
区 分			事業費	概 要		
耐震補強実施設計委託			6,327	国道六号9号橋外2橋		
橋梁長寿命化修繕詳細設計委託			35,968	常磐線3・4号橋、国道六号9号橋外1橋		
耐震補強工事			36,153	東真鍋1号橋、国道六号8号橋		
長寿命化修繕工事			10,121	国道六号8号橋		
合 計			88,569			
[令和2年度への繰越分] 財源内訳 国県支出金 50,603千円 地方債 37,600千円 一般財源 9,890千円 (単位：千円)						
区 分			事業費	概 要		
耐震補強及び長寿命化修繕詳細設計委託			17,821	国道六号7・11号橋外1橋		
橋梁復元設計委託			4,585	新川5号橋		
耐震補強工事			48,688	東真鍋1号橋、国道六号9号橋		
長寿命化修繕工事			26,999	国道六号9号橋		
合 計			98,093			
						
東真鍋1号橋（木田余立体橋）			国道六号8号橋			
【事業の成果】 計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。						

款	土木費	項	河川費			
事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業					
施 策 の 大 綱	2－1 市民が主役の安心・安全なまちづくり					
施 策 名	5 雨水等による浸水被害に強いまちづくり					
施 策 の 内 容	2 都市下水路の整備					
R1決算額	72,058千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			36,629千円	30,500千円		4,929千円

【事業の概要】

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する下水道施設の整備工事等を実施しました。なお、都市下水路整備事業については、国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しています。

◎都市下水路整備事業

- ・西根竹の入都市下水路施設整備工事 U2, 200mm×1, 900mm L＝47. 0m
特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用

◎小規模排水路整備事業

- ・田中三丁目地内小規模排水路整備工事 U400mm×600mm L＝102. 3m

[平成30年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
都市下水路整備費	4, 698	実施設計
小規模排水路整備費	7, 139	工事1件, 実施設計
合 計	11, 837	

[令和元年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
都市下水路整備費	55, 308	工事1件, 実施設計
小規模排水路整備費	4, 913	工事3件
合 計	60, 221	

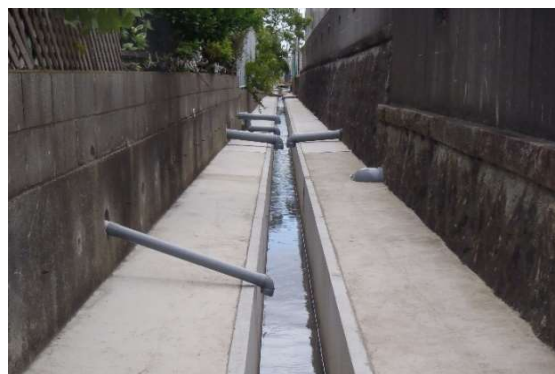
[令和2年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
都市下水路整備費	13, 000	工事1件, 補償金
小規模排水路整備費	4, 500	工事1件, 補償金
合 計	17, 500	



西根竹の入都市下水路 施工後



田中三丁目地内小規模排水路 施工後

【事業の成果】

都市下水路施設及び小規模排水路施設の整備を行い、大雨による浸水被害の減少を図りました。今後も計画的に雨水を速やかに排除する下水道施設の整備等を行うことにより、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	地域公共交通確保維持改善事業					
施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	4 人と環境にやさしい公共交通体系の構築					
施策の内容	1 公共交通網の形成					
R1決算額	4,047千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						4,047千円

【事業の概要】

利用しやすい公共交通環境の実現や、既存の公共交通の確保・維持などを図るため、土浦市地域公共交通網形成計画に基づく施策を展開するとともに、まちづくりと連携した公共交通ネットワークを再構築し、誰もが利用しやすい持続可能な公共交通網の実現を目指します。

◎令和元年度 主な事業実施内容

- ・バスの乗り方教室の実施
土浦第二小学校2学年100名、土浦小学校1学年98名、上大津西小学校全児童45名に対し、バスの乗り方、車内でのマナー等についての説明
- ・バスモニターの実施
市民モニター及び市職員において、市内のバス事業者評価の実施
- ・公共交通ガイドブックの作成
バスダイヤ及びバス路線を記載したガイドブックの作成
- ・千代田神立ラインの運行補助
令和元年10月より開始した千代田神立ラインへの運行補助の実施

◎事業費

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
負担金	536	地域公共交通活性化協議会負担金
	2,383	バス運行対策費負担金
補助金	305	霞ヶ浦広域バス運行対策費補助金
	823	千代田神立ライン運行補助金
合 計	4,047	



千代田神立ライン開通記念式典の様子



土浦市地域公共交通活性化協議会の様子

【事業の成果】

令和元年度は、千代田神立ラインの運行が開始されるなど、誰もが利用しやすい持続可能な公共交通網の実現に向けて進捗が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	亀城モール整備事業					
施 策 の 大 綱	2－6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
R1決算額	149,649千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			88,356千円	54,600千円		6,693千円

【事業の概要】

中心市街地の中心地に位置する川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道整備を行い、歩行者や自転車の安全性を高めるとともに、快適な都市空間を形成します。

また、当該計画箇所は、土浦駅前やモール505から亀城公園までに至る中間に位置することから、市民及び来訪者の憩いの空間づくりを行います。

- ・事業期間 平成26年度～令和2年度
- ・整備延長 L=178.0m
幅員 W=0.4～15.3m（モール部分）

[令和元年度分]

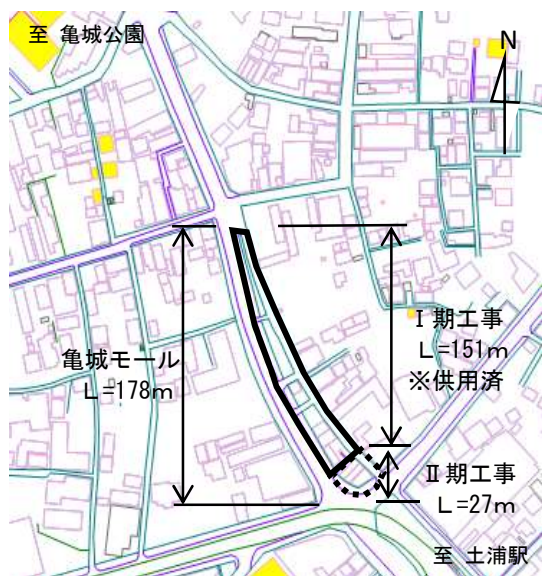
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費	6	収入印紙代
工事請負費	517	車止め設置工事
補償補填及び賠償金	149,126	補償金
合 計	149,649	

[令和2年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
公有財産購入費	6,300	用地取得費
補償補填及び賠償金	83,200	補償金
合 計	89,500	



位置図



整備状況

【事業の成果】

令和元年度は、Ⅱ期工事区間の一部用地を取得するなど、全線完成に向けた進捗が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業					
施 策 の 大 綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	5 生活拠点となるコンパクトな市街地の整備					
施 策 の 内 容	1 神立駅周辺地区の整備					
R1決算額	315,120千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				115,300千円		199,820千円

【事業の概要】

神立駅西口地区において、西口駅前広場及びアクセス道路の神立停車場線等の都市施設整備を土地区画整理事業により一体的に推進し、駅前にふさわしい市街地の形成を図ります。

- ・地区面積 2.2ha（土浦市 1.3ha、かすみがうら市 0.9ha）
- ・施行期間 平成24年度～令和4年度
- ・都市施設概要 都市計画道路神立停車場線 W=22m, L=23m
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む。）
都市計画道路神立駅前西通り線 W=15m, L=210m
- ・総事業費 55.5億円

[令和元年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
負担金	101,228	建物等移転補償費、公共施設整備工事等
	2,439	現場事務所諸経費
	27,156	派遣職員人件費
	157,356	剰余金
合 計	288,179	

[令和2年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
負担金	26,941	建物等移転補償費、公共施設整備工事等
合 計	26,941	



神立駅西口周辺整備状況



神立停車場線整備状況（神立駅方面）

◎今後のスケジュール

- ・令和2年度
建物等移転（継続）、公共施設整備工事、ライフライン整備工事
- ・令和3年度～
公共施設整備工事、ライフライン整備工事

【事業の成果】

令和元年度は、土浦市域の一部、かすみがうら市域の一部、駅前広場の一部について、公共施設整備工事を施工しました。また、令和2年3月には神立停車場線の暫定供用を開始しました。周辺道路が体系的にネットワーク化されたことにより、駅周辺地区の交通混雑が緩和され、都市基盤の形成に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	常名虫掛線街路事業					
施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
R1決算額	268,047千円	財源内訳	国県支出金 105,107千円	地方債 145,000千円	その他	一般財源 17,940千円

【事業の概要】

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状道路として、整備を進めます。

- ・事業期間 平成22年度～令和2年度
- ・整備延長 L=1,435m
幅員 W=16.0m

[平成30年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	17,684	地質調査、道路予備及び流末排水路設計
工事請負費	191,307	道路改良工事
合 計	208,991	

[令和元年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
役務費	1,677	不動産鑑定
工事請負費	54,157	道路改良工事
公有財産購入費	495	用地取得費
補償補填及び賠償金	2,727	補償金
合 計	59,056	

[令和2年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	5,800	道路改良工事
合 計	5,800	



位置図

【事業の成果】

並木地区から虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

また、新たな南北軸として新治地区から市街地を結ぶ交通ネットワークの構築により、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立停車場線街路事業					
施 策 の 大 綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
R1決算額	203,928千円	財源内訳	国県支出金 68,439千円	地方債 127,600千円	その他	一般財源 7,889千円

【事業の概要】

神立駅西口地区土地区画整理事業に併せて、神立駅から国道6号までの区間を本市とかすみがうらが市が整備し、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築するものです。

- ・事業期間 平成23年度～令和2年度
- ・整備延長 L=283m
- 幅員 W=22.0m

[平成30年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	76,715	道路改良工事
補償補填及び賠償金	7,215	電柱移設
合 計	83,930	

[令和元年度分]

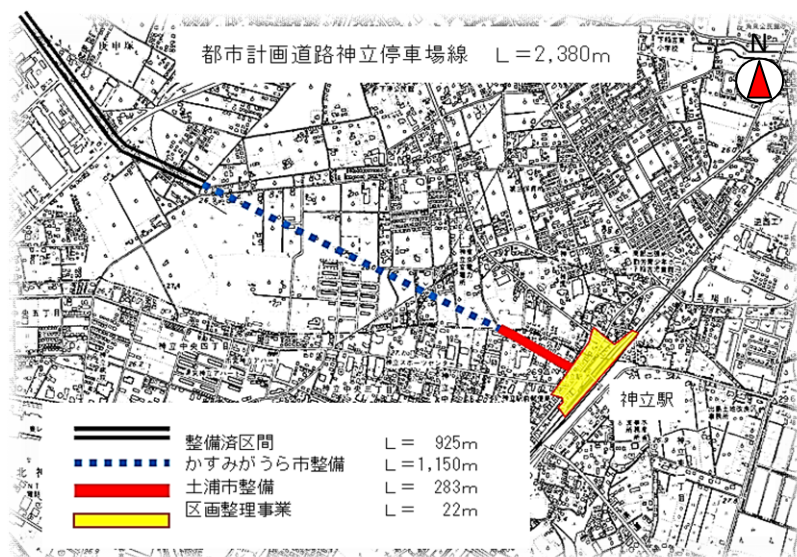
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費等	73	収入印紙購入費等
工事請負費	57,057	道路改良舗装工事
公有財産購入費	62,868	用地取得費
合 計	119,998	

[令和2年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	2,600	交通量調査、復元測量
工事請負費	2,260	付帯工事
合 計	4,860	



位置図

【事業の成果】

交通アクセスの向上により、市北部地区の交通混雑が緩和されるとともに、調和のとれた魅力的な都市環境の創出に寄与します。

また、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑な交通動線の確保と快適な環境の形成が図られます。

なお、区画整理事業地内の暫定整備を含め、令和2年3月26日に供用を開始しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業					
施 策 の 大 綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
R1決算額	45,052千円	財源内訳	国県支出金 18,700千円	地方債 17,200千円	その他	一般財源 9,152千円

【事業の概要】
 国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間を確保します。

- ・ 事業期間 平成24年度～令和2年度（Ⅰ期事業）
 令和3年度～令和7年度（Ⅱ期事業）
- ・ 整備延長 L=2,900m
 幅員 W=14m

[平成30年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	996	道路台帳修正，交通量調査
工事請負費	5,273	道路改良工事
合 計	6,269	

[令和元年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
需要費	208	消耗品
委託料	2,325	草刈，道路境界測量，側溝清掃
工事請負費	35,997	道路改良工事，付帯工事
補償補填及び賠償金	253	補償金
合 計	38,783	



位置図



整備状況写真

【事業の成果】
 神立駅東部地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野団地との円滑な交通体系が構築されるとともに、総合病院へのアクセス向上に寄与します。また、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。
 令和元年度は、国道354号から県道戸崎上稲吉線を結ぶⅠ期事業区間2,000m全線の整備が完了し、供用を開始したことで、全線完成に向けた進捗が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業					
施 策 の 大 綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
R1決算額	97,296千円	財源内訳	国県支出金 42,923千円	地方債 46,900千円	その他	一般財源 7,473千円

【事業の概要】

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（Ⅰ期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞の緩和を図るとともに、市の広域的な地域間連携を図ります。

- ・事業期間 平成26年度～令和2年度
- ・整備延長 L=1,300m 幅員 W=25.0m（4車線，歩道両側3.5m×2）

[平成30年度からの繰越分] (単位：千円)

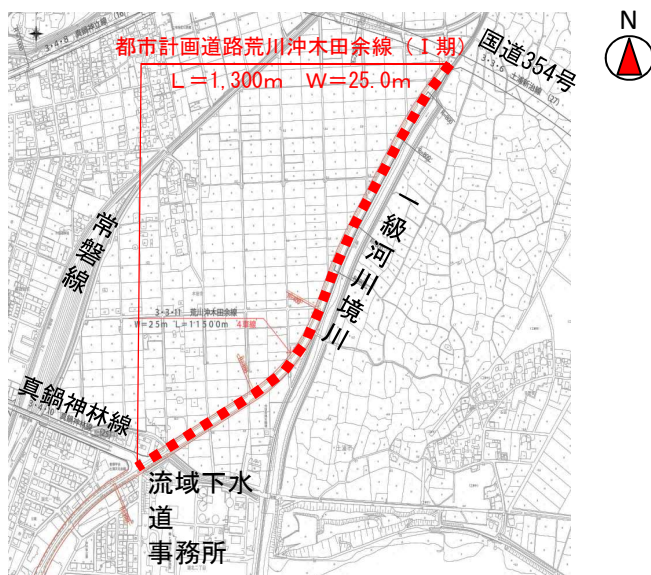
区 分	事業費	概 要
役務費	273	不動産鑑定
工事請負費	56,241	道路改良工事
補償補填及び賠償金	523	補償金
合 計	57,037	

[令和元年度分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
報酬	1,562	非常勤職員報酬
需用費	22	消耗品
工事請負費	29,201	道路改良工事
公有財産購入費	9,459	用地取得
補償補填及び賠償金	15	補償金
合 計	40,259	

[令和2年度への繰越分] (単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	57,008	道路改良工事
合 計	57,008	



位 置 図

【事業の成果】

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が期待されるとともに、市街地における交通渋滞の緩和及び安全性の向上を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	まちなか定住促進支援事業					
施 策 の 大 綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成					
施 策 の 内 容	2 まちなか居住の促進					
R1決算額	7,004千円	財源内訳	国県支出金 3,055千円	地方債	その他	一般財源 3,949千円

【事業の概要】

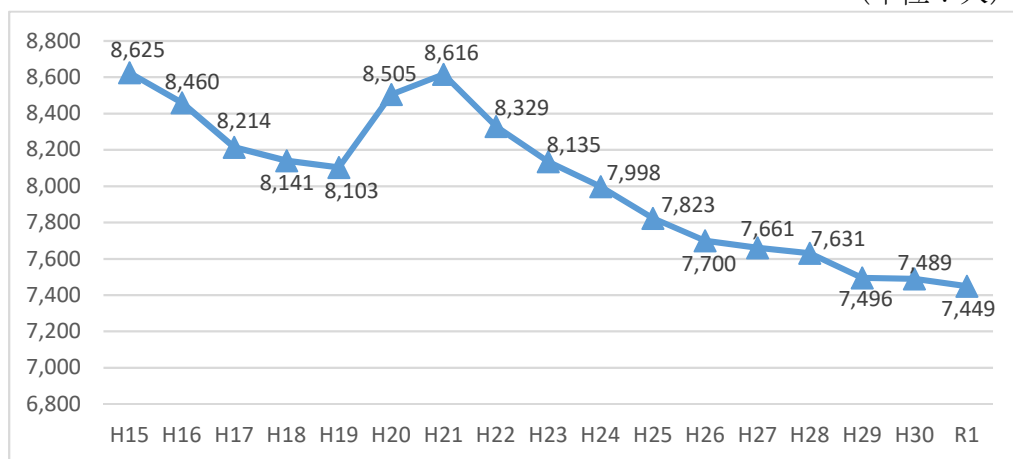
土浦市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地内の人口増加を目的として、中心市街地の定住を促進する支援を実施し、中心市街地への人口集約を図り、活力とにぎわいのある中心市街地の再生を目指します。

- (1) 実施期間：平成26年度～令和5年度（平成26年10月1日開始）
- (2) 実施エリア：中心市街地活性化基本計画によって定める中心市街地内
- (3) 事業内容
 - ① まちなか賃貸住宅家賃補助
市外から中心市街地内の賃貸住宅へ住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円/月）を補助します。
 - ② まちなか住宅購入補助
市外から中心市街地内へ住み替える世帯のうち、住宅を購入又は新築する新婚世帯又は子育て世帯に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助します。
 - ③ まちなか住宅転用補助（令和元年7月開始）
中心市街地内の空きビル等を住宅へ用途変更する方に対して、転用工事費の1/2（上限50万円）を補助します。

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
①賃貸住宅家賃補助	4,504	交付決定：29件（うち継続20件，新規9件）
②住宅購入補助	2,500	交付決定：5件
③住宅転用補助	0	交付決定：0件
合 計	7,004	

（単位：人）



中心市街地人口の推移

【事業の成果】

令和元年度は、賃貸住宅家賃補助と住宅購入補助申請とで合わせて34世帯（世帯構成人数：88人）からの申請があり、中心市街地内での定住促進及び人口集約に寄与しました。

また、平成26年度の事業開始から6年目となり、補助の活用による定住促進及び人口集約は、中心市街地内の人口減少の抑制に一定の効果がありました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業					
施 策 の 大 綱	2－3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成					
施 策 の 内 容	3 土浦駅東口地区のまちづくり					
R1決算額	3,300千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						3,300千円

【事業の概要】

土浦港に隣接する川口二丁目地区に官民連携による観光・交流拠点を整備し、中心市街地の活性化及びにぎわいを創出するため、平成30年度に市が整備した「りんりんポート土浦」南側の市有地に、民間事業者の創意工夫を活かした集客施設の誘致を進めて水辺のにぎわいを創出します。

◎令和元年度 主な事業実施内容

- ・民間事業者誘導支援委託

対象市有地における民間活力による土地活用の方向性等を把握するため、民間事業者へのヒアリング等を実施しました。

[令和元年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	3,300	民間事業者誘導支援委託
合 計	3,300	

[令和2年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	6,700	民間活力導入コーディネート委託
合 計	6,700	



位 置 図

【事業の成果】

令和元年度は、民間事業者へのヒアリングを通して、民間活力での事業推進に潜在ニーズがあると思込まれたことから、今後は、民間事業者とのより詳細な対話を実施していきます。

款	消防費	項	消防費			
事業名	消防団車庫整備事業					
施 策 の 大 綱	2－1 市民が主役の安心・安全なまちづくり					
施 策 名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急体制の充実					
施 策 の 内 容	1 消防力の充実					
R1決算額	21,478千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				20,100千円		1,378千円

【事業の概要】

災害時の拠点施設となる消防団車庫のうち、老朽化した施設を建て替え、消防活動能力の強化を図ります。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
解体工事費	1,297	構造等：鉄骨2階建 1階車庫 2階詰所 床面積：1階26㎡ 2階26㎡
地質調査	400	土浦市神立中央一丁目13-14 15分団車庫建設予定地
測 量	421	土浦市神立中央一丁目13-14 15分団車庫建設予定地
新築工事費	19,360	構造等：軽量鉄 平屋建て 車庫及び詰所床面積：54㎡
合 計	21,478	

[土地の概要]

所在地	神立中央一丁目13-14
地 目	宅地
地 積	508㎡



消防団第15分団車庫

【事業の成果】

大規模災害の発生が懸念される中、消防団を中心とした地域の総合的な防災能力の向上が図られました。